

新型コロナウイルス感染予防のため、昨年延期にした公演を、今回、感染予防に最大限注意を払い、改めて実施する予定でおります。まだまだコロナ渦ではありますが、どうぞご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

語りの会

ゆきわ

Vol.4 ～怖いもの見たさ～

～怖いもの見たさ～

行っではいけない… 見てはいけない…と言われると、
どうして人はそれに抗いたくなるのでしょうか。

怖いと思っているものは、本当にコワイものなのか？

喜怒哀楽では言い表せない感情の世界。

今回はそんなお話をお送りいたします。



今中 麻貴 Maki Imanaka

札幌テレビ放送(STV)アナウンサーを経てフリーに。これまで、日本テレビ「ズームイン!! SUPER」「ズームイン! サタデー」などに出演。現在もテレビショッピングの番組や司会などを続ける。

語りの第一人者、鎌田弥恵に師事し、20年前から語り公演に出演を続け、
現在は、東京では語りの会「プレシャス」、札幌では語りの会「ゆきわ」を主宰し、
小学生から大人まで聴ける朗読公演を毎年行っている。

絵本のナレーション、企業の話し方講習、朗読教室、学校での朗読公演、多数。
上演作品は、ウィーダ「フランダースの犬」、O.ヘンリー「賢者の贈り物」、森 鴎外「山椒大夫」、
重松 清「魔法使いの絵の具」、「番町皿屋敷」など。



南川 尚子 Naoko Minamikawa

高校時代に演劇に目覚め、
東京都内で10年以上小劇場を中心とした演劇活動を行う。

語りを今中麻貴氏に師事。ジャンルにとらわれず、喜んでいただける作品が目標。

客席と舞台の間に広がる創造の羽を実感している。

「芝居」とは一味違う「語り」に、自分でも楽しさを抑えられない。

上演作品は、森 絵都「母の北上」、平 安寿子「カワイイ・イズ・グレート!」、「元犬」。



初山 理恵 Rie Momiyama

中学時代、国語の先生に「声」を褒められて以降、「声」を使う活動に興味を持つ。

元「FMはまなす」パーソナリティ。

故・日高晤郎氏に師事。「日高塾」にて、朗読の基礎を学ぶ。

「ゆきわ」では、一昨年初参加でいきなり、大阪弁のこまっしゃくれた5歳児「ヨシオちゃん」に抜擢され、戸惑いながらも何とかやり遂げる。朗読は、自分の幅を広げてくれる、という事を体感。

今年もまた、新しい自分に出会うべく、2度目の参加。



飛島 明枝 Akie Tobishima サックス演奏

東海大学第四高等学校、北海道教育大学釧路校社会教育コース音楽文化領域卒業。

同大学音楽研究室定期演奏会にソリストとして出演。

これまでにサクソフォーンを永留淳也、田中靖人、木管楽器演奏法を高鹿昶宏の各氏に師事。

大学卒業後、中学校教諭として音楽科、吹奏楽部の指導者を勤めたのち、現在は木管アンサンブル

「Jouons ensemble」のアルトサクソフォーン奏者、ソロ、アンサンブルなどの演奏活動のほか、

北海道厚別高等学校音楽系列サクソフォーン非常勤講師、ライズ音楽教室講師、

その他道内各地において後進の指導にあたる。



吉田 育実 Ikumi Yoshida ピアノ演奏

札幌大谷短期大学音楽科ピアノコース、短大研究科を経て札幌大谷大学音楽学部作曲コース卒業。

作曲コンテストでの入賞経験あり。

現在札幌にて自身のピアノ教室を持ち講師業に専念している。

市内での演奏や作曲も続けジャンルを問わず幅広く活動。

北海道作曲家協会会員。

会場 札幌市民交流プラザ memo

札幌の街に文化芸術の交流の輪をひろげるため、2年半前に誕生した9階建ての
ランドマークタワー。オペラ、バレエなどを鑑賞できるバルコニー構造の大型劇場をはじめ、
市民やアーティストの発表を支えてくれる多くのスタジオ、
札幌の情報提供に力を入れた専門図書館、カフェ、レストランも入っています。

今回の語りの会は、1階にある“SCARTSコート”というスタジオで行います。
新しいピカピカの建物の中で開催できること、メンバー全員で楽しみにしております。

